

<2> 8月18日 地域リーダー育成プロジェクト② ファシリテーション研修



3422 永野咲楽

私は今回ファシリテーションというこれまでに聞いたことのない講義に参加しました。話し方の講座ということは事前に知っていましたが、とりあえずいつてみようと考えました。ファシリテーションをする人はファシリテーターといい難しい役割だと思っていましたが、会議や話し合いや振り返りなど多くの人数と話すときに使え、話をスムーズにするためのもので、コツさえ覚えれば誰にもできるものでした。その中でも、特にすごいと思ったのが、話し合いのとき誰も意見が出ないときの解決方法です。クラスでもシーンとなってしまふことが多かったため、身近で使えると考えました。シーンとなってしまった場合、空気を分けるようにグループを作りグループの意見として発表するなど使える機会が多いです。ファシリテーターになる機会があったらこの講義で得た知識を使いこなしたいと考えました。

<3> 8月21日 地域リーダー育成プロジェクト③ 語 ring



2309 増田暖乃

初めてこのプロジェクトに参加しましたが、卒業生の方から「苦労するようなことをやっておいた方がいい」ということを聞くことができ、大変自分のためになりました。中には相良高校卒業生の方もいて、親近感が湧きました。今の自分は自分の意見をまとめて話すことが苦手で、その自分の苦手を今日すごく感じました。グラフィックという、自分の頭の中を可視化するものがあると知ったので、それをやってみたいと興味が出てきました。自分は大学に行くつもりですので、レポートやまとめをすることが当たり前になって来ると思うので、今のうちから対策を取っておきたいです。このような先輩方がいるからこそ、地域が活性化されていると感じたので次のプロジェクトにも参加したいと思いました。

1323 濱崎奏汰

今回の語 ring をとおして、日常では絶対に話さない社会人の方々や他校の生徒たちと共に語ることができたことがとても良かったと思います。普段ではなかなか考えないようなことが高校生活で役立つこと、働く上でのやりがいや今後の生活に役立つことなどを社会人の方々に教えていただきました。また、他校生や社会人の方々、相良高校の生徒たちとたくさん話し、多くのアイデアやアドバイスなど、さまざまなことが聞けたので勉強になりました。自分は人見知りなのであまり知らない人と関わることや話すことがとても少なかったのですが、今回の語 ring をとおして様々な人たちと話すことができ、少し前に進めたような気がしました。

<4> 10月23日 地域リーダー育成プロジェクト④ 発信力



2110 下村和季

普段から人とのコミュニケーションがあまり得意ではないので、参加が決まった時は不安が強く、当日も発信力と書いてあったので会場に着いてより心配だった。しかし、講師の先生の話が面白く、話し方について学ぶことが多く、タメになった。呼吸の仕方では腹式呼吸の方が胸式呼吸よりいい声が出せることを知れた。また、スピーチ・プレゼンの「3つのP」という、どんな場所・聞き手が誰でもどんな関心があるのか・どんな目的なのかという3つの基本があり、大事だということを知った。

コミュニケーションには、言葉と話し方と表情や態度という3つの要素があり、これらがよくできていると聞き手にしっかり聴いてもらえるということが分かったので意識して発信したい。自分の声や話し方の特徴や癖を改めて考えてみて、文頭に「え〜」とか「ん〜」が入ってしまっていたり、反応のタイミングを見極めて反応したりするのが苦手だということが分かって、相手に対しての敬意や対話への意欲がないように捉えられてしまうと感じたので直していきたい。

<5> 11月16日 地域リーダー育成プロジェクト⑤ 聞き上手・話し上手



3422 永野咲楽

今回の地域リーダー育成プロジェクトでは、参加者としてではなく運営側として参加しました。私はその中でも、後半のファシリテーターとして運営をしました。放課後の会議で、どのように行かか話し合い、当日にも最終確認のため1時間ほど前に集合して話し合い、会場準備をし、参加者を迎えました。この地域リーダー育成プロジェクトを行っている牧之原市の職員の方々や忙しい時間の合間に来てくださった議員の方々はすごいと感じました。休日であっても地域のために動いて、この街をより良くしていこうという意欲が感じられ、私自身もそのような職員になりたいと感じました。また、ボランティア活動をやる際でも自分自身が積極的に動き、相手のために行動していきたいと思いました。

1312 小原有紗

今回が今年度最後の地域リーダー育成プロジェクトでした。最初から最後まですごく緊張しましたが、この1年で私自身が少しは成長できたと思います。最後の育成プロジェクトでは、自分たちが司会進行をしましたが、初めてやることだったのでまたまたすごく緊張しました。進めていく途中苦戦してしまうことは多々ありましたが楽しくやりきることができました。

選挙についてのお話では、「選挙に行かない人は、なぜ行かないのか」というテーマで話し合いました。私はまだ16歳なので選挙には行けませんが、18歳になったら必ず選挙に行ってみようと思います。しかし「選挙が今以上により良いものになればもっと多くの人が集まってくるのにな」とも思いました。インターネットでの投票が可能になれば、各家庭での投票ができるようになるので、若い人もたくさん選挙に参加してくれるのではないのでしょうか。

<6> 11月30日 未来創造たまご塾



1333 森下陽斗

今日の研修では、企業の方々から説明をうけて将来の選択肢を増やし、就職へのモチベーションややる気をあげることができました。最初に経済ゲームをしました。最初はよくわかりませんでしたが、グループの社長としてすぐに理解して最終の収益を全体で1位にすることができました。その後200人くらいの前で発表する場面があり以前なら緊張していたはずですが、SCH活動を半年くらい続けてきたおかげで大勢の人がいる場でも緊張せずゆっくり喋りきることができました。

企業の方々からの説明を受け、企業は見た目や企業名だけでは会社のことは何も理解できていないことがわかりました。また、各企業の話をしっかり聞いていくと企業名からは連想されない仕事内容がほとんどだったので、今後は名前や見た目ではなく、中身を理解していかなければならないと思いました。

【3 地域の魅力発信】

(1) 3年生商業課課題研究の発表資料

今年度は牧之原市波乗りレモン部会と連携、協力し、レモンの定植から栽培・収穫までを体験させていただき、今後3年間継続して活動することとなった。さらには波乗りレモンを利用した新たな商品開発を、地域の企業と協力して行った。

課題研究発表時の代表的な発表スライドを下に紹介する。

<New Business Plan ~波乗りレモン~>

34HR 井村雛 鈴木彩桜 鶴淵瑚々那 福田舞

NEW BUSINESS PLAN
波乗りレモン

2025.1
静岡県立相良高等学校
伊村雛 鈴木彩桜 鶴淵瑚々那 福田舞

TODAY'S AGENDA

1. 課題と解決策
2. フィールドワーク
3. 新商品の提案
4. 課題解決のために

01* SOLUTION
課題と解決策
私たちが解決したい課題はたくさんある
お茶が高い値段で売れない。飲む人が減っている。
↓
お茶農家が減る
↓
土地だけが残る
↓
その土地を活用してレモンを栽培

01* SOLUTION
課題と解決策
レモンを牧之原市の特産品に！！

静岡県産 牧之原産
波乗りレモン
Surfing Lemon
酸っぱい幸せ
牧之原市産 安心安全

02* FIELDWORK
フィールドワークについて
フィールドワークについて

高校畑管理でやったこと
・植栽間隔の測定・植え付け準備
・レモンの苗植え、肥料まき
・風よけ作り
農家さんの手伝いでやったこと
・肥料まき、薬を乗せた

03* MARKETING
新商品提案
新商品提案
波乗りムースケーキ

【企画の目的】
波乗りレモンを使用した商品を作って知名度を上げる。

新商品提案
03*MARKETING 商品開発の分析

メリット

- ・新しい特産品ができることで知名度が上がる
- ・商品の需要が大きくなれば 牧之原市=レモンの認識が浸透する

↓

店にも利益がでる

課題

- ・作成にコストがかかる
- ↓
- ・売れなかったときに困る
- ・まだ浸透していない
- ・安定した取引相手が少ない



課題解決のために
04*PROBLEM SOLVING
波乗りレモンを広めるためにできることは？
CM案を考えてみたよ！



まとめ



新しい特産品を広めることはコスト面などが大変でリスクもある！どれにおいても大変！！
企業との信頼を築き上げるのにも時間がかかり、どれも簡単なことではない。



THANK YOU

ご清聴ありがとうございました！



(2) 1年生「総合的な探究」による学習内容

幸せ探究・地域探究～

- コミュニケーション能力及びプレゼンテーションの技術を磨く
- 様々なアイデアを出し合いながら、一つの提案に集約する技術を身に付ける
- 「幸せ探究・地域探究」のテーマのもと、相良高校生として地域貢献を考える

探究発表会での発表内容一覧：3月13日（木）

| 班 | 発表テーマ |
|----|-----------------------------------|
| A1 | 環境を守る防波堤を作るために |
| A2 | イベントで牧之原市に人を呼ぼう |
| A3 | 牧之原市に住んでいる外国人が早く避難するには？ |
| A4 | 海の近くの大学の防災対策で相良が真似できることは？ |
| A5 | 通学を便利にするには？ |
| A6 | 牧之原市に市営の路面電車を敷く |
| B1 | ライドシェアやオンデマンドタクシーについて |
| B2 | 防犯・交通安全活動の充実 |
| B3 | 津波に対しての防災 |
| B4 | 人が少なく不便や経済的に問題がある |
| B5 | まちにある施設や店舗を増やす |
| B6 | 歴史的なレトロなまち並みを売りにして人に来てもらうためには？ |
| C1 | 公園をもっと人々の憩いのスペースにする |
| C2 | 牧之原市の楽しさ・住むことのメリットの発信選挙投票にもっと参加する |
| C3 | まちの公共交通を充実させるには？ |
| C4 | 市民の防災への満足度を高めるためには？ |
| C5 | 安心して子育てできるまちづくり |

| | |
|----|--|
| C6 | ドラマや映画のロケ地・差し入れコラボ・体験 |
| D1 | Instagram、Tik Tok、番組をつかって地域の前にまず相高を広めよう！ |
| D2 | 海などの景色を利用して人を増やし、地域を活性化する |
| D3 | 安心して子供を育てられる環境をつくるためにどうすればいいか |
| D4 | 人々を災害から守るためにはどうすればいいか |
| D5 | 人と人がもっと関わり合いを持つ地域にするにはどうしたらよいか |
| D6 | 牧之原市を子育てしやすいまちにするために何をしたらよいか |
| E1 | マッチングアプリの利用で出生率を増加させ、外国籍住民との共存を目指す |
| E2 | まちに子供を預けられる施設を増やそう |
| E3 | 牧之原市の施設を充実させて地域活性化を目指す |
| E4 | 空き地を有効活用して相良を住みやすい町にしよう |
| E5 | 外で遊ぶ人を増やすためには？ |
| E6 | コロナ前の観光客 100 万人規模に戻すためには？ |

(3) 2年生「総合的な探究」による学習内容

○地域の方や企業と連携し、地域のニーズや課題に沿った「実践から学ぶ課題解決学習」を実施する。

○全員が「実際に何かやってみる」、そこから気付いたことや失敗したことで学びを深めていく。

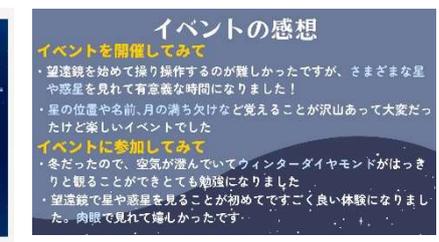
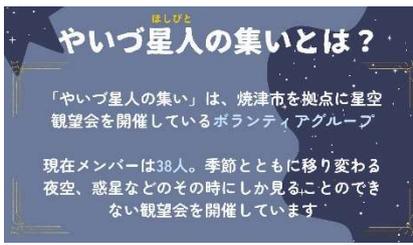
探究発表会での発表内容一覧：3月13日（木）

| 班 | 発表テーマ | | |
|----|------------------------------|--|--|
| 1 | 取材で身近な貢献を | | |
| 2 | ウインドサーフィンの国際大会を利用して牧之原の企業を宣伝 | | |
| 3 | 牧之原のお店の売上に貢献しよう | | |
| 4 | 牧之原のお茶産業を盛り上げよう | | |
| 5 | 貝殻を使って海をきれいに！ | | |
| 6 | ぶどうスイーツで牧之原の知名度 UP！ | | |
| 7 | 牧之原茶を広めよう | | |
| 8 | 使えなくなったタイヤを colorful★ | | |
| 9 | いちごを使ってスイーツを作ろう | | |
| 10 | さつまいもはおいしいぞっ たい焼き編 | | |
| 11 | フルーツ飴で牧之原市を有名にしよう | | |
| 12 | みかんを使ったスイーツを作ろう | | |
| 13 | 牧之原をぜってーに助ける ～フルーツ大福～ | | |
| 14 | フラペチーノ作り | | |
| 16 | 牧之原の PR 動画 | | |
| 17 | 波乗りレモンでレモンプリンを作ろう！ | | |

| | | | |
|----|------------------------------|--|--|
| 19 | お花屋さんのPOP作り | | |
| 20 | レモン農家のタタラさんとコラボしてみた！ | | |
| 21 | コラボ商品の広告づくり | | |
| 23 | 相良の海を日本一有名なビーチに！ | | |
| 24 | ドローン将来性 | | |
| 25 | 牧之原の特産物を使ってアイス大福 | | |
| 27 | ガーベラとレモンの魅力を伝えよう！ | | |
| 28 | 牧之原星の魅力 牧之原市にはお茶やみかん以外に星もある！ | | |

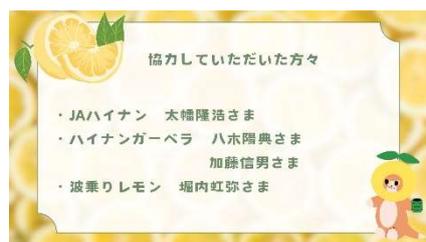
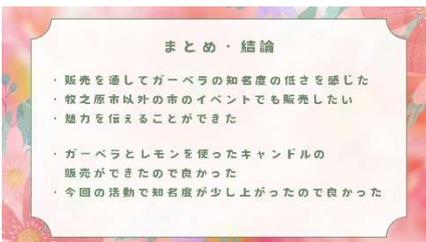
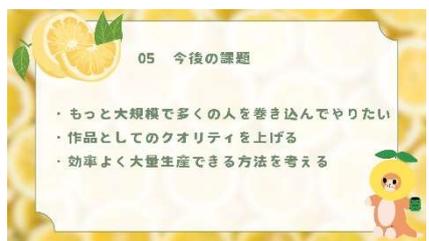
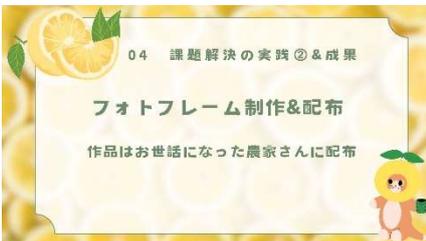
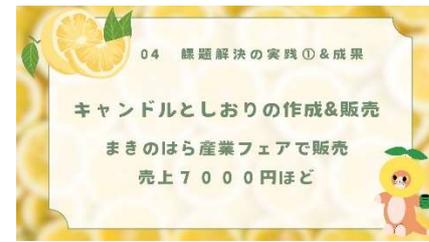
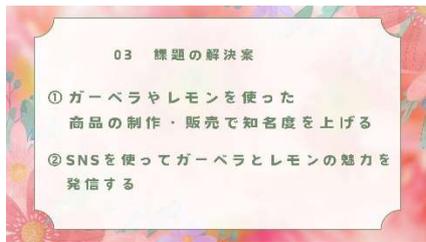
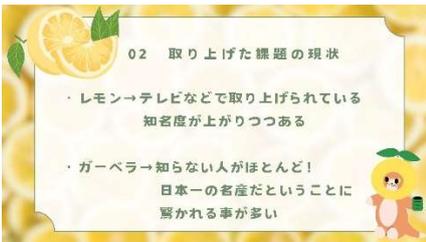
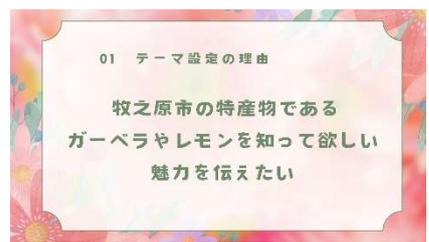
<牧之原星の魅力 牧之原市にはお茶やみかん以外に星もある！>

探究 28 班 新井瑞姫・大石いろは・後藤穂乃香・鈴木結奈・中村穂乃花



<ガーベラとレモンの魅力を伝えよう>

探究 27 班 柴本萌愛 名波薫

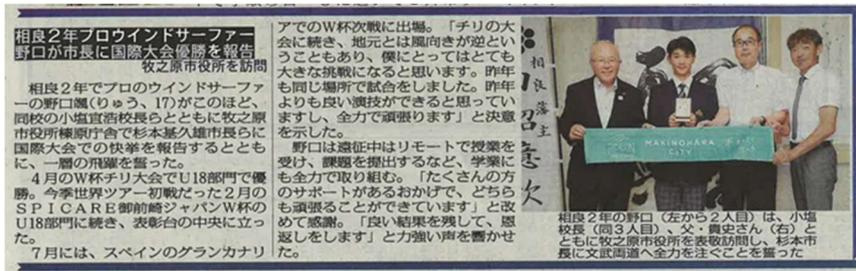


静岡新聞令和6年7月2日掲載



2年生野口颯さん
U18 ウインドサーフィンワールドカップ優勝

中日新聞令和6年6月24日掲載



スポーツニッポン令和6年7月2日掲載



e-sports サークル発足
静岡新聞令和6年6月26日掲載



ケルソーからの留学生交流：グローバル・弓道・茶華道
静岡新聞令和6年8月1日掲載

TBSテレビ THE TIME 中高生ニュース
令和6年9月12日出演





**地域住民に日本語学ぶ
牧之原で外国人向け教室**

外国人が生活に必要な日本語を学ぶ牧之原市の講座「はじめての日本語教室」が29日、同市役所権原庁舎で始まった。
初日は受講者のアラブ人ら約20人が、ボランティアの地域住民と対話をしながら、自我介绍や使えるフレーズについて教わった。趣味やよく訪れる飲食店などが話題に上がり、受講者は覚えたい日本語をメモしながら会話を楽しんだ。
講座は12月までの全10回。こみの捨り方などを学ぶ体験型の講座もある。

はじめての日本語教室
：グローバルサークル
静岡新聞令和6年10月1日掲載



K-MIX「ズミ、学校へ行く！」：野球部
令和6年10月16日出演

静岡第一テレビ「The NEXT」：ビジネス部
令和6年10月22日出演



相良高のeスポーツサークル始動に尽力した

この人 つちや あさひ
土屋 旭さん (牧之原市)

昨年8月に生徒会長になり、コンピューターゲームなどの腕を競うeスポーツサークルの立ち上げに携わった。校則の見直しにも取り組んだ。18歳。
理想の学校像は。
「生徒が自主的に意見を言える高校を目指してきた。従来の校則ではツーブロックやお団子などの

髪形が禁止だったが、明確な基準が分からないという声があった。パスポートなどの証明写真を基準に髪形の許容範囲を広げる校則に変更した。eスポーツの部活やサークルは県内の公立高校では珍しいので学校の新たな魅力になると思い、当時の校長先生に直談判した

サークルの立ち上げで苦労した点は。
「モニターやコンピューターなどeスポーツに最適な機材を用意するのが難しかった。仲間と協力しながらインターネットで安価に入手できる機材を探した。学校側の予算もあるので先生ともよく話し合った。同窓会や地元企業の支援があったおかげで環境をそろえられた」
eスポーツの魅力は。
「個人技術と仲間との関係の両方が必要な点。敵チームと駆け引きしたり、瞬時の判断が求められる。頭を回転させるのも面白い。ゲームだからといって『楽しければいい』というのではなく、大会に向けて勝ち負けにこだわって練習している」
将来の夢は。
「大学で栄養学を学び管理栄養士になりたい。今後eスポーツはさらに世の中に広まっていくと思う。その時に栄養士として健康面でプロのチームをサポートしたい。今はそういった職業は聞いたことがないが、新しいことに挑戦してみたい」
(橋原支局・沢口翔斗)

静岡新聞「この人」e-sportsサークル 土屋旭（生徒会長） 令和6年11月8日掲載

牧之原市議会が
相良高生と議論
「若者の関心」テーマ

牧之原市議会は24日、同市の相良高で議会報告会を開いた。議員と生徒が交流し、「若者が議会に関心を持つには」などのテーマで話し合った。
議員と生徒が6人のグループを組み、意見を出し合っていた。生徒は、議員について持っているイメージを伝えた。「女性が少ない」「何をしているのか正直分からぬ」「率直な意見を述べない」など率直な意見を述べた。議員の仕事や成果が市民に深く浸透していないことについては「議員が学校の授業に出るのはどう



議員と交流する生徒ら＝牧之原市の相良高

静岡新聞：SCH市議と語ろう
令和7年1月24日掲載

か「普段見ているSNS（交流サイト）に積極的に登場してほしい」などと提案した。

資産運用、商品どう選ぶ

相良高 生徒、金融学習の成果発表



お金の向き合い方を語る菊地さん

高校生が資産運用や家計管理など金融について学んだ成果を発表する「金融経済教育フェア」（県金融広報委員会など主催）が29日、牧之原市の相良高で開かれた。

同校の2年生がグループに分かれて学習成果を報告した。資産運用について発表した生徒は、金融商品が安全性、収益性、流動性という三つの性質を持つことを説明し「全てを兼ね備え



金融について学んだ内容を報告する生徒たち
牧之原市の相良高

静岡新聞：金融経済教育フェア 令和7年1月30日掲載

スポーツ通じて国際交流

12カ国の30人 相良高を訪問



ゴルフを通して交流する生徒ら＝牧之原市の相良高

内閣府の国際交流事業「世界青年の船」に参加する外国人らが3日、牧之原市の相良高を訪問し、スポーツを通して生徒と親睦を深めた。ポーランドやセネガル、国内などから参加した12カ国の若者約30人が訪れた。参加者はゴルフのパターやバスケットボールで同校の3年生とコミュニケーションを取り合った。生徒は「ナイスプレー」などと英語で積極的に声をかけた。

世界青年の船は、1月下旬から約1カ月の日程で、東京都、本県、島根県を巡り、社会問題解決に向けたディスカッションや文化体験などを行う。

静岡新聞
青年の船交流事業
令和7年2月6日

日本テレビ

「超無敵クラス」

令和7年3月9日出演



～ 地域を愛し 地域から愛され続ける ～

SCH
Super Community High School
-based

令和6年度 学校経営計画重点事業報告書 第10号 令和7年3月発行

発行者 静岡県立相良高等学校 牧之原市波津1700番地3

電話 0548-52-1133